

## 政策協定書

第五十回衆議院議員総選挙において、〇〇〇〇候補と、福島県医師連盟委員長 石塚尋朗 は次の内容について政策協定を締結する。

### 記

〇〇〇〇候補は、左記の政策協定事項を鋭意実現するものとする。また、福島県医師連盟は、〇〇〇〇候補者の当選に向けて一致団結して取り組むものとする。

#### 政策協定事項

- 一、東日本大震災及び原子力災害からの除染を含めた迅速なる復旧復興、子どもの健康及び心と体のケア対策などを最優先課題として誠意をもって取り組む。
- 一、医療崩壊を防ぐための一施策として医療費抑制策の抜本的な見直しを図り、国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して充分に受けられるための適切な財源を確保する。
- 一、住民が住み慣れた地域において、少子化対策も鑑みて、産科、小児科を含む、幅の広い、質の高い医療、介護を受けられるよう地域における必要な医療を確保する。
- 一、国民皆保険制度を堅持するとともに、国民間で医療・介護の享受に格差が生じないように、国民医療・介護の更なる充実・強化を図る。
- 一、通常の診療を中心とした平時の医療と新興感染症対策における有事の医療を車の両輪として、国民の生命と健康を守る。
- 一、医療DXにおいては、デジタル技術を駆使することによって、より安全で質の高い医療を実現し、医療従事者の負担を軽減し、我が国の医療制度から誰一人取り残さない環境を確保する。

令和六年十月吉日

自由民主党公認候補者 〇〇〇〇 印

福島県医師連盟委員長 石塚尋朗 印